

# 株式会社介援隊



■ 本社所在地 宮城県気仙沼市  
本吉町宮内 44-23

■ 主な事業内容 介護業

■ 従業員数 37人



健康経営優良法人認定

2020～2022 認定 (2021・2022 はブライツ 500)



## 健康経営に取り組むきっかけ

会社を立ち上げた頃は比較的若い社員が多かったのですが、現在は全体的に年齢層が上がりました。50代の職員が胃がんで長期の休みとなったことをきっかけとして、会社ができることを考え、健康経営優良法人に向けて取り組むことにしました。



各種認定証

介護職は24時間体制で夜勤もあり、人員確保が大切です。求人を募集しても思うように職員の補充は出来ず、何かしらの手を打たないと今後ますます難しくなります。そのためにも、職員には、できるだけ健康に長く働いてもらいたいと考えています。

## 注力している取り組み

介護業のため、感染症対策には力を入れています。検温、入室管理、消毒などの対策を徹底して行っているため、今までクラスターは発生していません。



体育館

関連会社が気仙沼市内で経営する飲食店では、バスケットコートを併設しているので職員が福利厚生で運動が出来るようにしています。社内バスケットボールクラブもあります。



情報誌

給与明細と一緒に健康情報が掲載された情報誌を配布しており、健康相談の窓口も開設しました。契約している保険会社が面会の機会を用意しており、職員の相談に乗っています。

## 取り組みの課題

健康経営を行っていることについて職員への浸透が今ひとつです。体育館の利用やクラブ活動も若い職員は参加してくれますが、

年齢が高くなると参加率も低くなります。健康のために頑張っているという働きかけが100%伝わっていないのが課題です。年齢が高い職員は健診の結果も良くない傾向なので、是非とも参加して欲しいです。

## 取り組みの効果

健康への意識は上がってきており、健診の結果を見ても、血糖の数値が高い職員が4人から2人に、また肝機能の数値の悪い職員も減少しました。データ的に取り組みの結果が見えています。



管理栄養士が準備したメニュー

また、健康経営に取り組み、職員との話し合いの場が増えたことでコミュニケーションが活性化し、社内に団結が生まれてきたことが大きな成果だと思っています。

介護医療職は喫煙者が多い業種です。近隣の本吉病院には禁煙外来があり、職員数名に通院してもらい禁煙に成功しました。業務と重なる場合は役員を中心にフォローすることに加え、費用を会社で負担しました。加えて、受動喫煙対策として屋内禁煙などにも取り組んだ結果、かつての喫煙率は役員を含めて総じて高く69%でしたが、45%に下がりました。今後は灰皿の設置を無くすなど検討していきたいと思っています。

食事管理も管理栄養士が準備したものを希望する職員に提供しました。いま、33名の職員のうち4名が提供を受けていますが、もう少し増やしたいと思っています。

## 今後の展望をお聞きしました！

健康経営で培ってきたことを社外に広げる活動として、職員の発案で施設利用のない地域住民に向け、公民館などで体操教室を開くことを考えています。会社を広く知ってもらうためにも、職員だけではなく地域も含めて、健康推進に取り組んでいきたいと思っています。



取締役社長  
阿部吉博 氏